

2015年8月18日

緊急リスクレポート！

インターリスクアジアタイランド

## バンコク繁華街での爆発

バンコクの中心街で8月17日午後7時頃、爆発が発生しました。20人が死亡、123人が負傷しています（8月18日午前7時時点）。

### 状況

爆発が起きた場所はラチャプラソン交差点です。同エリアはバンコク中心地の繁華街で、商業施設やホテルが多く、高架鉄道 BTS の駅から近い場所です。

同交差点には観光名所の「エラワン廟（びょう）」があり、日本人を含む多くの外国人観光客が訪れる場所でもあります。ローカルニュースによると、亡くなった20名の国籍は、マレーシア人2名、中国人（香港含む）4名、シンガポール人1名、タイ人5名、国籍不明8名となっています。また負傷者は21の病院に運ばれ治療を受けていますが8名が重体とされています（同日午前9時時点）。爆発時の状況についてはオートバイに仕掛けられた手製爆弾が爆発したとの情報が有力ですが、それ以外にも自動車、もしくは付近の施設に仕掛けられていたとの情報があります。

現時点で犯行声明などは出ていませんが、プラウィット副首相兼国防相はテロの可能性について言及しています。また、タイ南部の反政府イスラム武装勢力を含む現政権に反対する勢力による犯行の可能性（捜査当局）とのコメントもあり、いずれも政治的な背景を持つ個人・組織による犯行の可能性が高いとの見解です。

### 発生現場の特徴

同交差点は過去にも政治的な背景を持つ事件が発生しています。2010年の反政府デモの際には商業施設が放火され大部分が焼失しました。2014年の反政府デモの際には同交差点の北側が封鎖されましたが、封鎖中の2月に反政府デモ会場で手りゅう弾が爆発し、子どもを含む2名が死亡しています。また、2015年2月には現場近くのショッピングモールで小型爆弾2個が爆発しています。



爆発現場とラチャプラソン交差点周辺で過去に発生した事件

## 政府の対応

プラユット暫定政権は市内の観光客が集まる場所を中心に軍・警察を配置しています。

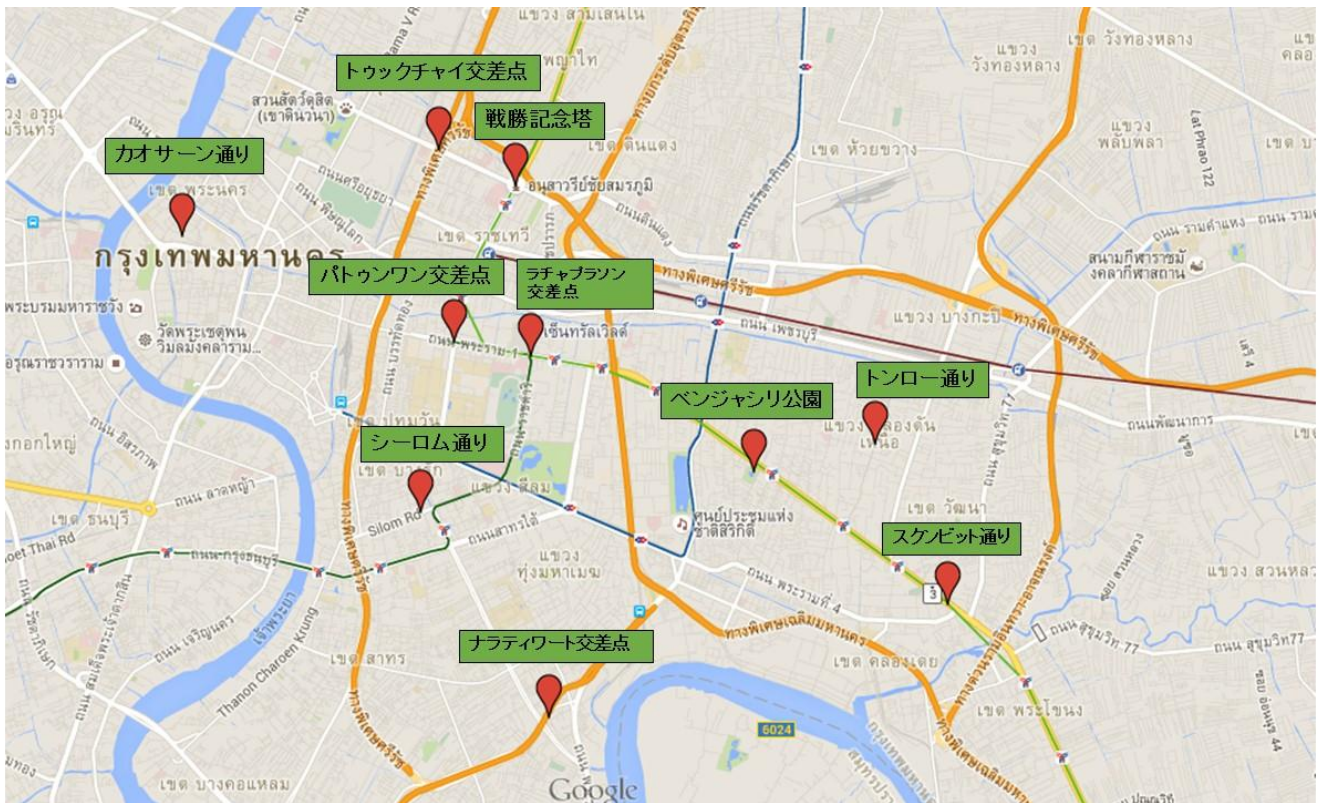
現時点で政権より特段の規制は出ておらず、行政や金融機関は通常通りの運営となっています。

一方で今回の事件を受けて、18日はバンコクの公立校（400校以上）が休校となっています（日本人学校は夏休み、インターナショナルスクールは一部で通常通り開校）。

## 公表されている注意が必要な場所

タイのローカル紙によると爆発直後の17日8時30頃、タイ陸軍より重点パトロール地域として10箇所が公表され、日本大使館を含む各大使館にも連絡がありました。

この10箇所は以下の通りとなります。在留邦人が多く住むスクンビット通り、トンロー通り、ベンジャシリ公園が含まれています。



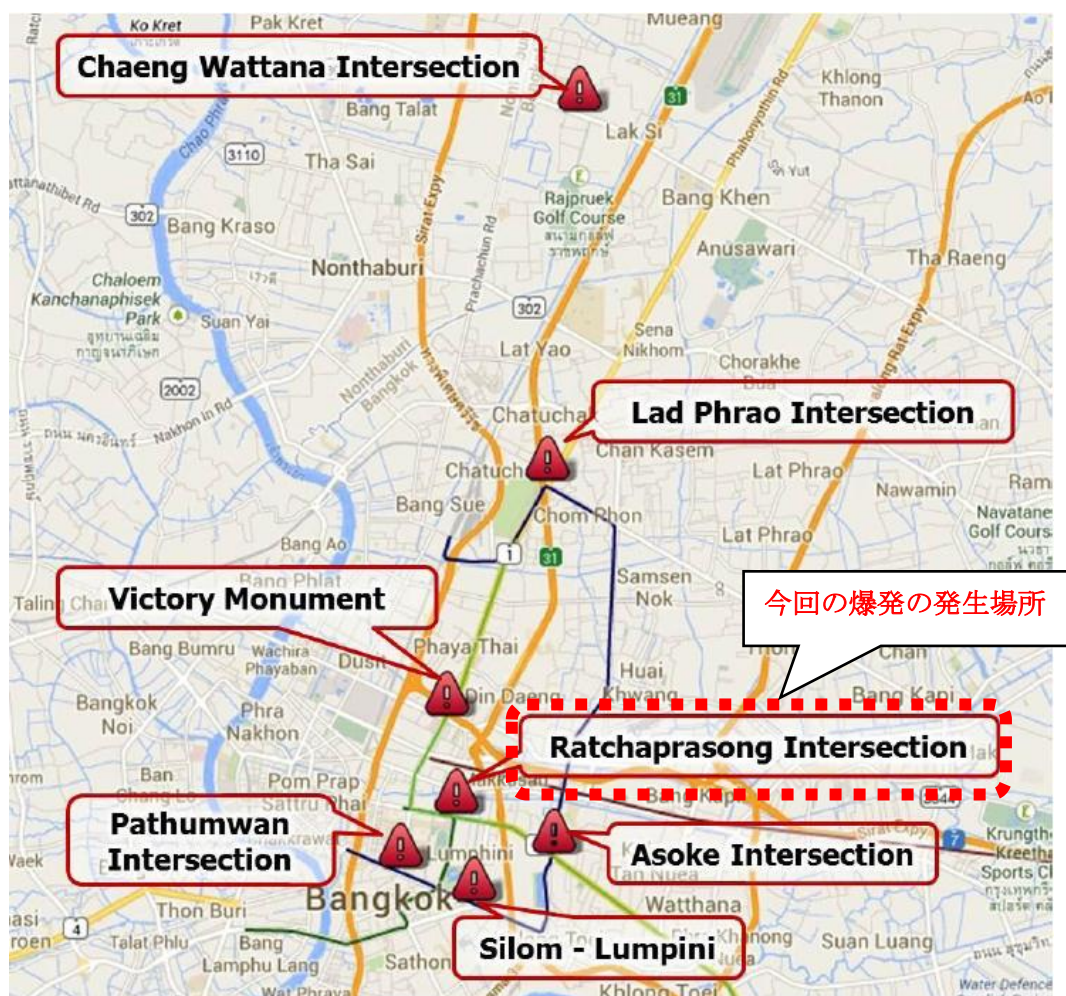
タイ陸軍が注意が必要な場所として公表した10箇所



また 2014 年の反政府デモの際にデモ隊により封鎖された場所は以下の通りとなります。

(デモ当時、Google が作成・公表していたデモ発生場所)

前述のタイ陸軍による注意が必要な場所とされる 10 箇所のうち、4 箇所（今回の現場であるラチャプラソン交差点、パトゥムワン交差点、シーロム通り、戦勝記念塔）が含まれています。



2014 年の反政府デモの際にデモ隊により封鎖された場所

## 渡航上の注意

日本の外務省はホームページの渡航情報（スポット情報）で今回の爆発事案の発生に関する注意喚起を行っています。<sup>1</sup> また在タイ日本国大使館からは在留邦人向けに注意喚起のメールが発信されています。

## ご留意抱きたい事項

今後の状況が不透明な状況下、当面は以下をご留意下さい。

- ① 不急・不要の外出は控える。
- ② やむを得ず外出する場合には以下の場所へは極力近づかない。
  - ・ 観光地・商業施設
  - ・ タイ陸軍が公表している注意が必要な 10 箇所
  - ・ 過去にデモ等が発生した場所（2014 年の反政府デモの際に封鎖された場所や空港など）

<sup>1</sup> <http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcspotinfo.asp?infocode=2015C251>

<http://highlight.kapook.com/view/124993>  
<http://www.ems.bangkok.go.th/>  
<http://news.sanook.com/1849026/>  
<http://www.bigza.com/news-177193>  
<http://www.manager.co.th/Home/ViewNews.aspx?NewsID=9580000093190>  
<http://news.sanook.com/1849030/>  
<http://www.ems.bangkok.go.th/>  
<http://highlight.kapook.com/view/124993>  
<https://maps.google.co.th/>

株式会社インターリスク総研は、MS&AD インシュアランスグループに属する、リスクマネジメントに関する調査研究およびコンサルティングを行う専門会社です。タイ進出企業さま向けのコンサルティング・セミナー等についてのお問い合わせ・お申込み等はお近くの三井住友海上、あいおいニッセイ同和損保の各社営業担当までお気軽にお寄せ下さい。

インターリスクアジアタイランドは、タイに設立されたMS & ADインシュアランスグループに属するリスクマネジメント会社であり、お客様の工場・倉庫等へのリスク調査や、BCP策定等の各種リスクコンサルティングサービスを提供させて頂いております。お問い合わせ・お申し込み等は、下記の弊社お問い合わせ先までお気軽にお寄せ下さい。

お問い合わせ先 : InterRisk Asia(Thailand) Co., Ltd.  
175 Sathorn City Tower 9th Floor. South Sathorn Road.  
Thungmahamek. Sathorn. Bangkok 10120. Thailand  
<http://www.interriskthai.co.th/>  
Direct: +66-(0)-2679-5276  
Fax: +66-(0)-2679-5278

本誌は、マスコミ報道など公開されている情報に基づいて作成しております。

また、本誌は、読者の方々および読者の方々が所属する組織のリスクマネジメントの取組みに役立てていただくことを目的としたものであり、事案そのものに対する批評その他を意図しているものではありません。